

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 221号

平成22年5月27日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で..

久慈農業改良普及センター 公式

検索

○ 露地ほうれんそうの拡大に向けて ○

～シーダーマルチャー実演会が開催されました～

4月20日、洋野町大野においてシーダーマルチャーの作業実演会が行われました。久慈管内全域から生産者、関係者合わせて60名ほどが足を運び、熱心に説明を聞くとともに、作業性について多くの質問があるなど関心の高さがうかがわれました。

久慈地域は雨よけほうれんそうの産地として発展してきましたが、ハウス導入がスタートして約30年が経過し高齢化等の問題も徐々に表面化してきております。近年になりほうれんそうの出荷量が伸び悩むなか、ハウス価格が高騰し増棟することも困難な状況でほうれんそうの出荷量を拡大する戦略の一つとして従来の雨よけ栽培に加え露地作型の拡大に取り組み始めたところです。今回のシーダーマルチャーはJA新しいわて久慈営農経済センターが主体となり県事業の補助により導入されるもので、生産者へ貸し出され使用されます。

まだまだ厳しい状況が続くと思われませんが、後継者世代が中心になって活躍し始めるなど明るい材料もあります。露地作型の導入など新しい取り組みを行い、地域全体で産地を次のステップへ進めていきます。

生産者自身による試運転
播種精度はまずまずの模様

○雨ニモマケズ！？今年も水稲直播・ロングマット栽培開始○

～久慈地方低コスト水田営農研究会が研修会を実施しました～

久慈地域では、昨年度に引き続き水稲の湛水直播栽培とロングマット水耕苗栽培に取り組んでいます。

今年度は県北広域振興局の事業を活用し、水稲担い手農家らで組織した「久慈地方低コスト水田営農研究会」が、主食用米をはじめ、稲粃粗飼料(稲WCS)および飼料用米生産のための実証圃設置を計画しており、5月3日の湛水直播を皮切りに、6月上旬のロングマット苗移植まで、順次進めていく予定です。

5月12日には、湛水直播栽培およびロングマット苗移植栽培に関する同研究会主催の研修会が野田村で行われ、会員を含む農家や関係者ら、およそ40人が参加しました。

研修会では、直播作業やデモ用器材を使ったロングマット苗の育苗方法や移植作業の実演等が行われました。当日はあいにくの雨天にも関わらず、参加者らは作業実演を熱心に見学し、関心の高さ、期待の大きさが感じられました。

研究会では、今後、実証圃の生育状況や、収穫作業に関する研修会も計画しています。



直播作業の実演

○ 普及センター活動情報 ○

「久慈地域水田営農システム確立事業」の紹介

1 目的

近年、久慈地方においても、効率的な水田営農のための圃場整備が行われるとともに、集落営農組織が組織化されるなど、担い手への作業委託等農地利用集積が始まっております。その中で、資材費の高騰、米価の低迷により、水稻栽培の所得は低い状況が続いており、省力・低コスト栽培技術の導入や単収の向上が重要な課題となっています。

また、畜産と連携し、稲ホールクroppサイレージ（稲WCS）や飼料用米等、水田を活用した飼料生産を行う事例が増えてきています。

そこで、当地方における水稻直播栽培技術とロングマット水耕育苗・移植技術の現地実証を行うとともに、稲WCS及び飼料用米の生産、需給による耕畜連携システムを確立し、久慈地域の新たな水田営農体系の確立を図ります。

2 事業実施主体

久慈地方低コスト水田営農研究会（委託）

3 事業内容

実証圃の設置（4ヶ所）

場所	実証内容（目標）	面積
久慈市大川目	省力・低コスト技術を導入した稲WCSの栽培実証と畜産農家との連携システムの確立	314a
野田村米田	省力・低コスト技術を導入した飼料用米の栽培実証と畜産農家との連携システムの確立	105a
洋野町向田	化学肥料の代わりに堆肥（鶏ふん、豚ふん）を使用した飼料用米の栽培実証	48a
普代村茂市	主食用米の単収向上のための省力的な追肥技術（水口流入施肥）の実証	60a

○ 転入者紹介 ○

【①名前 ②出身地 ③担当 ④前任地 ⑤ひとこと】

- ① 成田 恵美（なりた めぐみ）農業普及員
- ② 青森県平川市
- ③ 農村活性化
- ④ 県北農業研究所
- ⑤ 久慈での新生活を楽しみに参りました。豊かな自然を満喫し、元気いっぱい頑張りたいと思います。



○ 技術情報 ○

◇◆ 水 稲 ◆◇

- ★除草剤は散布のタイミングが重要です。適期散布を心がけましょう。
- ★水稲の初期生育を促すために、こまめな水管理（浅水⇔深水）をしましょう。
- ★補植用の取り置き苗は早急に処分しましょう。
- ★斑点米カメムシ類の密度抑制のため、地域で一斉に草刈りを行いましょう。

1 除草剤をうまく効かせるポイント

除草剤の散布時期が毎年遅れていませんか？ 除草剤は適期に散布しないと十分な効果が得られません。ヒエ等の葉齢（葉の枚数）を観察し、適期散布を心がけましょう。また、散布後の水管理はラベルの記載事項に従い、適切に行いましょう。

2 水管理のポイント

晴れた日は浅水管理（水深2～3cm）、寒い日や風の強い日には深水管理（水深5～6cm）を心がけましょう。

田んぼへの入水は夕方から朝に行い、昼間は水を止めて保温に努めましょう。

3 取り置き苗の処分

いもち病の予防のため、補植終了後は土に埋める等して直ちに処分しましょう。

4 斑点米カメムシ類の密度抑制

今年のアカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化時期（カメムシが卵からかえる時期）は、6月20日前後と見込まれます。この前後5日間にあたる6月15日～25日頃に水田畦畔、牧草地、雑草他、農道等の草刈りを地域一斉に行い、カメムシの密度抑制に努めましょう。

◇◆ ほうれんそう ◆◇

★べと病に注意

久慈地域で、べと病レース7抵抗性品種に感染するべと病が発生した可能性があります。この時期はヤマセが入りべと病が発生しやすい条件（低温、高湿度）が続きます。これからは、レース7抵抗性を持つ品種を使用する場合にも2回以上薬剤防除するようにして下さい。

◇◆ りんどう ◆◇

★定植について

1. 圃場の準備

- ①堆肥・土壌改良資材を投入して深耕、排水対策（明渠・高畝）。
注意！未熟堆肥の投入、排水不良は後々に欠株を増やす原因になる。
- ②こぶ症対策としてクロの土は絶対に圃場に入れないように！圃場の周囲は広く取る。
- ③肥料資材は、下記を参考に準備しておく（いずれも10a当たり）。

土壌改良資材として、 良質堆肥 3～4 t	基肥として、 過リン酸石灰 60 kg りんどう専用化成、りんどう一本勝負 どちらか60～70 kg
--------------------------	--

- ④うね巾は、広めにゆったりと（床80cm、通路70cm程度）。
- ⑤畑を湿らせてからマルチを張ること！

2. 苗の馴らし

- ・ 苗は定植圃場の通路に並べて2～3日馴らしを行い、その後速やかに定植する。
→その辺の畑やクロなどにベタ置きしないこと！

3. 定植作業

- ①理想的には降雨後の曇天の日などに作業する。
- ②植え穴に根鉢部分を差し込むようにして植え付け、軽く土を寄せる。
土をかぶせてしまわないこと！

4. 定植後の水管理

- ①トレー1枚植えるごとに、植え付けた分にたっぷり水をやる。
- ②圃場全体を植え終わったら、畝間かん水する。
- ③活着するまではこまめに灌水すること。マルチ穴に水圧を低くして灌水！
- ④以後圃場が乾いたら灌水し、初期成育を促す。

5. その他

- ①定植年から病害虫防除をお忘れなく。葉枯れ病に要注意。
- ②月に一回ぐらいはマルチ穴の草を取る。

◆◆ 果 樹 ◆◆

★ヤマブドウの若枝の管理について

ヤマブドウは、巻きひげで支柱や他の枝に絡みつくと非常に旺盛な生育となります。巻きひげをできるだけ取り除き、枝が垂れ下がった状態になるようにすると生育が落ち着きます。

収穫までに25cm前後の間隔に一枝あるようにすると良品が収穫できます。①開花前に、生育の悪い枝、蕾の少ない枝②結実確認後（6月下旬ころ）、結実不良の枝③7月下旬～8月下旬にかけて混んでいる枝と3段階わけて枝を元から取り除くようにしましょう。

★もも、すもも、かきの摘果方法

形のいいもの、下向きや斜め下向きの果実を優先的に残しましょう。

かきで、収穫前落果が多い場合は、摘果を実施しましょう。

樹種	摘果時期	摘果方法
もも	開花後20～50日後	30cm以上の枝には2果、15～30cmの枝には1果、15cm以下の枝には、5本に1果程度にする
すもも	満開後40～60日後	10cm間隔に1～2果ならせる
かき	7月ころ	1果あたりの葉枚数20～25枚

○春の農作業安全月間(4月15～6月15日)○

『農作業 慣れと油断が 落とし穴 初心を忘れず 安全第一』